

## 第57期中央労働講座

全港湾関東地方東京支部  
吉田 直樹

今回豊橋シーパレスにて2026年5月27日から29日の3日間第57期中央労働講座に参加させていただきました。

第1講座では鈴木中央執行委員長より「全港湾の歴史」の講義を受けました。戦後とともにある全港湾80年で、港湾労働法制定闘争、全国港湾を結成して産別交渉権確立した歴史等を学び、先輩方の築いてきた労働運動を継承し次の世代に伝えていく事が必要であり、大切だと思いました。

第2講座は森屋隆前参議院議員より「今の日本の政治情勢と今後の行方」の講義を受けました。労働組合と政治との関係制であり、労働運動には議員との繋がりが大切である、今の政治情勢を変えるには一人一人が政治に興味を持ち選挙に行く必要がある事を、組合員にも伝える事が重要であると感じました。

第3講座は松永書記長より「産別協定と事前協議制度」の講義を受けました。産別協定があるから港湾労働者の職域は守られている事、職域を守る為にも事前協議制度が必要で産業別労働組合が大切である事を知りました。

また、グループ討論では各地方支部の抱える問題などを共有し意見交換できたことは貴重な時間となりました。今回の労働講座で学習したことを、私自身が何度でも学習し次の世代に伝えていきたいと思います。

最後に、第57期中央労働講座の講師、準備・進行をして頂いた方々にお礼申し上げます。

以上